

皆さん、おはようございます。本日は第 65 回総会を開催いたしましたところ、会員ならびに名誉会員の皆様には全国各地からご参加いただきまして誠にありがとうございます。本年 4 月会長に就任いたしました愛知県半田保健所、澁谷いづみでございます。宜しくお願いたします。

本日は大変お忙しい中、厚生労働省健康局長上田博三様、福岡県保健医療介護部長平田輝昭様、ならびに福岡県医師会長 横倉義武様にはご臨席を賜り誠にありがとうございます。

また、本日会長表彰させていただきます会場前列に着席の皆様には、長年にわたり保健所活動に携わり、公衆衛生の向上に尽力されてられました。厚くお礼申し上げますと共に今後とも保健所の内外からご指導を頂きたい、ご活躍を祈念申し上げます。

さて、全国の 517 保健所からなる全国保健所長会は、保健所活動の進展と相互の連携を図ることで、公衆衛生の向上に寄与することを目的に活動しております。

昨年 60 周年を迎え、これまでの会の活動実績の上にさらに、新たな時代の要請に応えられる創造力を持った保健所長会にしていきたいと考えております。

これまで、保健所の在りようは、地域保健対策の推進に関する基本的な指針に「概ね 2 次医療圏に一致」とされているものの、設置されている自治体の行政改革と深く関連し、県型保健所の所管区域の広域化など重大な影響を受けてきました。一方で、市町村合併が進み、人口増加の市型保健所は、その中でもさらに所管事務が分化し、多様な保健所像を呈してきました。今後は、市への権限の移譲や、独自性を尊重した市とその周辺の県型保健所との一層の連携なども望まれるところです。

ただ単に「広域化が合理的」とするのではなく、公衆衛生の第一線の保健所には、きめこまかに医師会をはじめとする地域の関係機関や自治体と調整・連携することが求められております。保健所長の兼務体制を解消すべく公衆衛生医師の確保の重要性を確認し、この数年の変化を踏まえた地域保健対策の基本指針の見直しが所長会としても必要と考えております。

さて、今、具体的に保健所に求められているものは、地域の健康危機管理の拠点として迅速かつ適切な対応をすることと、医療制度改革の推進にあたって医療計画をはじめ関係の計画策定・実行・評価のいずれの段階においても重要な役割を果たすことです。

保健所は食品衛生、感染症対策など、様々な健康危機管理の重要な局面に、日々緊張感をもって接しています。一つ一つの保健所が確実にその役割を果たすことが求められています。

一方、医療行政を担う地域の拠点として、医療安全対策の充実や、救急医療対策、医療連携による生活習慣病対策など、地域完結型の医療計画の具体的な推進は、重要な保健所

活動の課題です。また、退院促進、自殺、うつ対策に代表される精神保健対策の充実もこの数年保健所で本格的に取り組みられるようになってきました。

さらに医師臨床研修制度により「地域保健・医療」の保健所研修がおこなわれておりますが、これは研修医が医師として、医療と医師の社会性を深く考え医療行政を体験できる貴重な機会となっております。臨床に在っても公衆衛生の視点をもった社会性ある医師を育て、さらに公衆衛生医師の確保にも影響を持つと考えています。保健所長を始め行政で働く医師を確保することは将来の日本の医療行政にかかわる重要な課題との認識を持っております。

このような課題に今、保健所が向きあっていくためには、全国保健所長会はその役割として次の3点を挙げたいと思います。

まず1点目は、現場の実態と声を厚生労働省はじめ国の関係機関や組織に届けることです。施策がより望ましい方向に進むよう、通常の要望活動や検討会・協議会などへの会員の参画を進め、所長会として機会を捉えた働きかけをしていきます。このことは役員だけが関与するのではなく、会員一人一人がパブリックコメントの募集や保健所対象調査に誠実に対応することが必要と考えます。

2点目は、全国ネットのメリットを活かし保健所活動を支援する仕組を充実させていきます。他の保健所の具体的な活動例を知ることができ、また、保健所長の専門性の高い悩みにも的確な助言を得られる、そういった経験と智恵を共有していく体制を調査研究事業などを通じて構築していきます。実際非常によい活動例でも他から指摘をしないと、当事者もその価値に気づかず、参考事例として全国に広がることも難しいといえます。また、Hクライシスを利用した危機管理事例の収集活用や、地域の医療連携事例の意見交換など全国ネットの保健所長の連携と協力でさらなる効果をあげることが期待できます。

3点目は保健所長自らの資質向上を図っていきます。保健所は多くの専門職種を擁し、潜在能力も高い組織のため、リーダーである所長はそれらの能力を引きだすことが必要です。そのため所長自身の資質向上が求められています。研修や研究事業などを通じ地域と共に成長する保健所長を目指していきます。また、保健所長の中には優れた人材が多く存在し、得意とする分野も幅ひろく、こういった人材の発掘と活躍を会として支え、活かしていきたいと思っております。さらに会員の皆さんにはその活躍により、次の世代を担っていくパブリックヘルスマインドのある公衆衛生医師の確保に御協力を頂きたいと思っております。我々は次の時代の公衆衛生医師に残せる仕事をしていかなければならない責務があると考えております。

そこで以上の3点を踏まえ、会の運営に当たって、理事会と委員会活動の役割を次の様に考えます。理事会は新たな社会の動向を視野にいれ、通常の会務運営を中心に活動し、理事の一部を入れた2つの委員会、「地域保健の充実強化」と「健康危機管理」の委員会は、敏速かつ継続的に保健所と公衆衛生の課題に対応していきます。委員長・副委員長は役員会にも出席して頂き、積極的に意見交換ができる体制といたしました。議論を重ねて

いくことが重要です。そこで今年は本日午後のプログラムを、委員会成果報告と会員協議といたしました。

また、委員や理事には得意分野を活かし国の検討会、研究班などに参加していただくこととしました。

「公衆衛生」は文字どおり、住民の生命と生活をまもることです。保健所がその拠点であることは言うまでもありませんが、保健所と公衆衛生は先に述べたように、厳しい状況に置かれております。智恵を出し合い力を合わせ、会員の和をもって会長職を果たして行きたいと決意を新たにしております。このような時節に今回、副会長ならびに役員・委員などを引き受けていただいた先生方にはこころから感謝申し上げます。また送り出している地元所長会にも重ねて御礼申し上げます。そして本年度の総会を準備いただきました福岡県保健所長会、地元福岡市保健所長会の皆様には誠にありがとうございました。

保健所は地域にあって人々の健康に関するあるべき姿を語り合える場といえます。地域の住民や専門家からは何かの折に「そうだ、保健所に相談しよう、知らせよう」と思ってもらえることが大切です。保健所が住民の期待に応えられるよう、全国の保健所職員と力をあわせ公衆衛生の向上を目指していきたいと思います。どうか会員の皆さん宜しくお願いいたします。ありがとうございました。